

『運動機能障害の「なぜ？」がわかる評価戦略』 正誤表

このたびは『運動機能障害の「なぜ？」がわかる評価戦略』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
 本書の第1刷（2017年5月15日発行）～第9刷（2022年2月15日発行）におきまして以下の誤りがございました。
 ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2017年5月29日作成 2022年8月24日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1～9	71頁・C.肘関節の運動 1行目	尺骨の滑車切痕には滑車溝と呼ばれる溝があり、	上腕骨の滑車切痕には滑車溝と呼ばれる溝があり、	2022/8/24
1～9	141頁・図3 頸椎の各部位・b 側面	椎間孔	横突孔	2022/8/24
1～9	157頁・図1-12 頸椎の椎間孔	椎間孔	横突孔 *椎間孔は図中央部分の椎骨間の空洞に見える部分	2022/8/24
1	181頁・項目7) 仙腸関節・「●疼痛が発生する解剖学的要因」内6行目	Sakamoto ら27) は、仙腸関節周囲の受容器は 上 1/3 と 下 1/3 に集中し、そのほとんどが…	Sakamoto ら27) は、仙腸関節周囲の受容器は 近位 1/3 と 中央 1/3 に集中し、そのほとんどが…	2017/5/29
1～5	344頁・索引・中段・項目「へ」内5行目	変形性股関節症 234	変形性股関節症 220	2018/12/31
1～6	201頁 Thomas test	<ul style="list-style-type: none"> ・検査肢位 背臥位にて被検者が股関節・膝関節屈曲位で把持する。 ・把持する部位 検者は検査側下腿近位と足部を把持する。 ・誘導する運動 ゆっくり他動的に検査側の股関節を伸展方向へ誘導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査肢位 背臥位。 ・把持する部位 検者は検査側と反対の下腿近位と足部を把持する。 ・誘導する運動 ゆっくり他動的に反対側の股関節を屈曲方向へ誘導する。 	2020/12/22
1～8	215頁 「2) 大腿筋膜張筋」の「作用」	膝関節伸展90° 以上では膝関節屈曲と下腿内旋	膝関節屈曲90° 以上では膝関節屈曲と下腿外旋	2021/8/3